

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」星が丘校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法定以上の支援スペースを確保できている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法定の人員配置基準を満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物の2階にあり、階段のためバリアフリー化はできていないが、事業所内は平坦になっており、訓練室やトイレなど視覚でわかりやすいようになっている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的にミーティング・会議を開催し、業務の改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表でいただいた意見をもとに、改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年事業所評価を行い、ホームページで公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価としてはできていないが、事業所評価を業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内での研修の他、定例研修として、web上で月に1回程度研修を行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者とのコミュニケーションをよく取り、児童の様子と併せて個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		法人独自のツールを使い、行動観察からアセスメントを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で情報を共有し、個別支援計画に沿ったプログラムを作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			担当職員を固定せず事業所全体で児童に関わるようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		個別支援計画に沿って課題を設定し、支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別活動が主ではあるが、必要に応じ小集団での活動も提案している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			決まった時間のミーティングではないが、職員間で随時情報を共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			決まった時間のミーティングではないが、職員間で随時情報を共有している。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回記録を作成・保管している。支援の記録を参考にして課題設定を行っている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも 6 か月に 1 回のモニタリングを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		自立支援・創作活動・余暇の提供など、児童の様子に合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管または管理者が参画するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		児童や保護者から学校の行事予定等を確認し、要望があれば連携ができるよう体制を整えている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者や園からの要望があれば情報共有できる体制を整えている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		保護者や事業所からの要望があれば情報共有できる体制を整えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じ、連携ができる体制を整えている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流はできていない。今後、外部参加のイベント等も必要に応じて検討していきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	活動がある際には、コロナの状況を見て参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援時に保護者とお話する時間を取り、情報を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			支援時のフィードバックや事業所内相談支援を活用し、対応している。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や更新時に説明を行い、事業所内に書類を掲示している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援時のフィードバックや事業所内相談支援を活用し、対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナの状況を見て開催を進めていきたい。Zoom等を活用してオンライン上での保護者会等も検討する。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			利用者・保護者からの要望があった際には迅速な対応ができるよう体制を整えている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報ではないが、校舎の LINE を活用して情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			パソコンや個人情報の記載されたものは鍵付きロッカーに保管し、施錠している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			職員全体で、丁寧な聞き取りやコミュニケーションを意識して行うことができている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	見学等は随時受け付けているが、コロナの影響もあり地域交流はできていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルは法人で策定し、事業所内で研修に活用している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練や研修を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、定期的に研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当者はいないが、必要に応じ個別支援計画に記載することとしている。重要事項説明書にて、保護者への説明も行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供はない。事前の聞き取りは行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員全員が閲覧・編集できるデータを作成し、共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」星が丘校

保護者等数（児童数）：55 回収数：44 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	44			・他者が気にならないように区切られていて集中できると思う。 →今後も、活動しやすい環境を整えるよう努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	41	3		・わからない。 →重要事項説明書の取り交わし等の際に、随時ご説明いたします。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	25	2	→教室が 2 階にあるなど、建物の設置上難しい部分もありますが、ご利用しやすい環境にできるよう努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	44			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	42	2		・子供が興味を持って取り組める工夫がありありがたい。 →今後も楽しく活動できるよう、努めてまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	21	17	→外出などのプログラムを設定することができず、交流には難しさがあります。今後の課題として検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	44			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	43	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38	6		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	21	16	・コロナのためできていなかったが、またやってほしい。 →Zoom 等を活用した遠隔での開催を検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	34	10		・特に苦情がないので対応の仕方がわからない。 ・苦情と感ずることはない。 →体制につきましては重要事項説明書に記載がります。何かお気づきの点がありましたら、お気軽にお声がけください。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	44			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	22	2	→自己評価の結果はホームページに公表しておりますが、周知が不足していたかもしれません。LINE なども活用し、皆さまに活動を知っていただけるよう努めます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	42	2		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	14	2	→ご説明が不足していたかもしれません。申し訳ありません。各種マニュアルは策定しており、緊急時用の訓練に活用しております。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	18	6	・わからない。 →定期的に防災訓練を実施しております。利用者様や保護者様にもご参加・ご協力をいただくこともありますのでよろしくお願いいたします。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	40	4		・学習やゲーム等の時間は楽しんでいるが、なかなかできないことからくる緊張や不安を感じる事がたまにある。学校で頑張ってきた後の時間なので、疲れていて楽しみに感じる事ができないときがある。 →楽しむだけでなく、リラックスして過ごすことで気持ちを切り替える場としてもご活用いただければと思います。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	43	1		・学習や本人がやりたいと思う活動をバランスよく支援していただきありがとうございます。 →ありがとうございます。今後も皆様にご満足いただけるよう職員一同努めてまいります。 ・こちらの都合だが、土曜・祝日に利用ができるともつとありがたい。 →ご不便をおかけしており申し訳ありません。ご利用日程につきましては随時ご相談させていただきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。